

令和3年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（技術・家庭（家））

受験番号		氏名	
------	--	----	--

— 注 意 事 項 —

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 「日常食の調理」に関する学習について、ぶた肉を使った「しょうが焼き」と「蒸し野菜のサラダ」の調理実習を行うこととした。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

【表1】材料

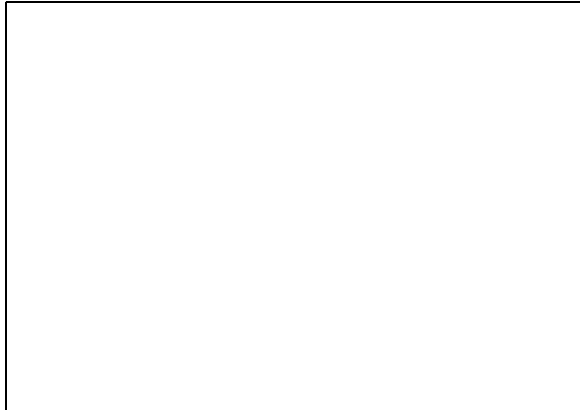
【しょうが焼き】	【蒸し野菜のサラダ】
A <u>ぶた肉の薄切り</u>	ブロッコリー
しょうゆ	にんじん
みりん	さつまいも
B <u>しょうが</u>	ドレッシング
油	マヨネーズ
	しょうゆ
	すりごま

- (1) 「しょうが焼き」の調理実習について次の①～③の問いに答えなさい。
- ① 下線Aについて、ぶた肉の部位はロースとし、身近な地域で生産されたものを使うこととした。一般的なロースの特徴を書きなさい。また、地域の食材を使用することの意義を2つ書きなさい。
 - ② 下線Bについて、しょうがはぶた肉に香りやからみを加え、うまみを強くする働きがあるが、肉を調理する上で、他にどのような効果があるか。しょうがに含まれる成分に触れながら説明しなさい。
 - ③ しょうが焼きの調理実習をする際、ぶた肉は中までしっかり火を通すことを指導するが、その理由を具体的に説明しなさい。
- (2) 「蒸し野菜のサラダ」の調理実習を行う前に、小学校で扱う「ゆでる」調理と比較して「蒸す」調理の特徴について理解する学習を行うこととした。次の①、②の問いに答えなさい。
- ① 「蒸す」調理の特徴を「ゆでる」調理と比較して、3つ書きなさい。
 - ② この学習を行う際に、どのような活動が考えられるか、具体的に書きなさい。
- (3) 上記の調理実習の他に、中学校で扱う加熱調理の仕方について理解させるために、調理実習をあと1回行うこととした。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説技術・家庭編に示されている「地域の食材を用いた和食の調理」以外に、適切な実習例を1つ書きなさい。また、その実習例を行う理由を書きなさい。

2 「住居の機能と室内環境の整え方」に関する学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 住居の基本的な働きについて、小学校と中学校で学習するが、中学校で主に理解させる住居の基本的な働きを2つ書きなさい。また、それらの働きに気付かせるための学習活動の例を具体的に書きなさい。
- (2) 図1を使って、日本の伝統的な住まいや住まい方を学習することとした。アは、木枠に和紙を貼った建具である。アの名称を書きなさい。また、アのよさについて、気候風土との関わりと機能面から、それぞれ説明しなさい。

【図1】



- (3) 室内環境の整え方について、次の①、②の問いに答えなさい。
- ① 図2の押し入れでは、(イ)の壁面に結露が見られた。なぜ、そのような様子が見られたのか、理由を書きなさい。また、その結露を防ぐ工夫を具体的に1つ書きなさい。

【図2】

- ② 学習したことを家庭生活に生かせるよう、この学習の後に自分の家庭の中で問題を見付け、対策を考え、実践する学習を設定した。このとき、生徒が見いだす問題とその解決策の例を具体的に書きなさい。

- 3 「生活を豊かにするための布を用いた製作」の学習について、次のような指導計画を立てた。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

【指導計画】

時	ねらい	主な学習活動
1	○生活を豊かにする物を考えさせる。	(ア)
2	○自分が考えた生活を豊かにする物に合わせ、製作計画を立てさせる。	(イ) <u>材料や縫い方を考え、製作計画を立てる。</u>
3～5	○縫う方法を考え、生活を豊かにする物を製作できるようにする。	(ウ) <u>手縫いやミシン縫いで製作する。</u>
家庭	製作した物を活用する。	
6	(エ)	(オ)

【生徒A～Cが製作する物と使う材料】

<p>【生徒A】 製作する物：ティッシュボックスカバー 材料：使わなくなったバンダナ（綿100%）</p>	<p>【生徒B】 製作する物：トートバッグ 材料：キルティングの布</p>	<p>【生徒C】 製作する物：トートバッグ 材料：ソフトデニムの布</p>
---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	-----------------------------------------------

- (1) 空欄(ア)について、生徒が具体的に製作したい物を決定するための活動を書きなさい。
- (2) 下線(イ)について、次の①、②の問いに答えなさい。
- ① 生徒Aが、使わなくなったバンダナを材料として使うことの利点を、環境面、製作面から1つずつ書きなさい。
- ② 生徒Bが、材料として使う「キルティング」とはどのような布か、説明しなさい。
- (3) 下線(ウ)について、次の①～③の問いに答えなさい。
- ① 教科書を入れるトートバッグを製作する生徒B、Cが、それぞれ【図3】【図4】のように布の上に型紙を置き、しるしを付けようとしていた。それぞれの生徒に助言することを理由が分かるように書きなさい。
- 【製作するもの】 【図3】 生徒B 【図4】 生徒C

- ② 布を裁断する際に使うはさみの名称及び、その使い方の留意点を書きなさい。
- ③ ミシンの使用中に「ミシンの針棒が動かない」という状態を防ぐために、事前に確認しておくこととよいことを、2つ書きなさい。(ただし、電源の入れ忘れやミシンの故障は含まない。)
- (4) この題材の第6時には、どのような学習活動を設定したらよいか。空欄(エ)と(オ)を簡潔に書きなさい。

4 「家族・家庭や地域との関わり」に関する学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) これからの自分と家族との関わり方を考えさせるため、次のようなロールプレイングを設定した。後の①、②の問いに答えなさい。

家族構成【中学生A（2年）、父、母、弟（小学校4年）、祖父】

場面設定・母が仕事で来週火曜日から木曜日まで出張することになった。（2泊3日）

・祖父が入院中。

母：「来週の火曜日から2泊3日で東京に出張することになったの。」

弟：「食事はどうするの？」

父：「食事はお父さんが仕事から早めに帰ってきて作ることにするよ。でも、水曜日はおじいちゃんの着替えを病院に取りに行く日だ。Aが行ってくれれば助かるな。」

A：「ぼくは、定期テストまで部活動はないけど、勉強があるから。家のことは無理だよ。」

母：「水曜日の朝は、ゴミ出しもあるのよ。お父さんは早く会社に行かなくてはいけな
いから、困ったわ。」

① このロールプレイングを行った後に、振り返りを設定した。振り返りの視点としてどのようなことを示したらよいか、2つ書きなさい。

② この活動を通して気付かせたいことは何か、書きなさい。

(2) 高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、課題を設定し、解決方法について考える活動を設定した。次の①～③の問いに答えなさい。

① Aさんが地域の高齢者の活動について調べたところ、地域の自治体やNPO法人の活動に参加している高齢者が多くいることが分かった。NPO法人について、そのはじまりも含めて説明しなさい。

② 地域の高齢者との関わり方について理解させるため、疑似体験用のゴーグルとひざサポーターを付けて歩く高齢者疑似体験を通して、高齢者の身体的な特徴について考えさせることとした。高齢者疑似体験を行う際に安全面で配慮することを1つ書きなさい。

③ 高齢者の身体的な特徴を踏まえた関わり方について理解できるように、介護に関する体験的な活動を設定することとした。どのような活動がよいか、高等学校家庭科における高齢者の介護に関する学習につなげることを踏まえ、具体的に1つ書きなさい。

(3) (1)(2)で学習したことを基に、「家族・家庭生活についての課題と実践」に関する学習を設定した。学習したことや生活経験などを基に問題を見だし、各生徒の興味・関心等に応じて課題を設定させる際の留意点を1つ書きなさい。

家庭 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	※
---------	-------	------	----	---

(3年)

※欄には記入しないこと

1	(1)	① (特徴)	※	※
		意 義	※	
	②	※		
	③	※		
	(2)	①	※	
②		※		
(3)	(実習例)	※		
	(理由)			

2	(1)	働 き	※	※
		(学習活動)	※	
	(2)	(名称)	※	
		(気候風土)	※	
		(機能面)		
	(3)	① (理由)	※	
(工夫)		※		
②		※		

家庭 解答用紙	2枚中の2	受験 番号	氏 名	※
---------	-------	----------	--------	---

(3年)

※欄には記入しないこと

3	(1)		※	※	
	(2)	① (環境面)	※		
		(製作面)			
	(2)	②	※		
	(3)	① (生徒B)		※	
			(生徒C)	※	
		② (名称)		※	
			(使い方)	※	
		③		※	
	(4)	(I)		※	
(J)			※		

4	(1)	①		※	※
	②		※		
	(2)	①		※	
		②		※	
		③		※	
	(3)			※	

以下はあくまでも解答の一例です。

家庭 解答用紙	2枚中の1	受験 番号		氏 名		※	
---------	-------	----------	--	--------	--	---	--

(3年)

※欄には記入しないこと

1	(1)	①	(特徴) 脂がのっけていて、柔らかい。	※ 3点	※ 30点
		意	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材は生産者と消費者の距離が近いために、より新鮮なものを食べることができる。 自分の住む地域でどのような農産業が行われているか、意識を向けさせることができる。 	※ 2点 ×2	
		義	<ul style="list-style-type: none"> 輸送のための燃料の使用が少なく、CO2の排出がおさえられる。 地元の生産者の収入につながり、地域経済が活性化する。 <p style="text-align: right;">など</p>		
	②	しょうがにはタンパク質を分解する酵素が含まれており、肉をやわらかくする効果がある。	※ 4点		
	③	ぶた肉は細菌や寄生虫を保有していることがあるので、中までしっかり火を通して細菌や寄生虫を死滅させる必要がある。	※ 4点		
	(2)	①	<ul style="list-style-type: none"> 加熱中は食品に触れないので、煮崩れが起りにくい。 栄養素などの水溶性成分が流出しにくい。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品本来の味が保持される。 水蒸気で加熱するので加熱むらがない。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 流動性のもも容器に入れて加熱できる。 <p style="text-align: right;">など</p>	※ 2点 ×3	
		②	「ゆでた」野菜と「蒸した」野菜を、観察したり試食したりして比較する活動。	※ 3点	
	(3)	(実習例) 煮魚の調理実習	など	※ 3点 ×2	
		(理由) 中学校では、魚、肉、野菜などを用いて基礎的な日常食の調理ができるようにするため、まだ扱っていない魚を選択し、煮る、焼く、蒸す等の加熱調理の仕方を理解させる調理実習を行う。	など		
2	(1)	働 き	・心身の安らぎと健康を維持する働き	※ 2点 ×2	※ 20点
			・子供が育つ基盤としての働き		
			(学習活動) 家族を想定し、間取りが分かるような簡単な図などを活用して、家族の生活行為がどのような住空間で行われているのかを話し合う活動	※ 3点	
	(2)	(名称) 障子	※ 1点		
			(気候風土) ・吸湿性・放湿性があるため室内の湿度を調節する。 ・断熱性があるため寒さが室内に伝わるのを和らげる。	※ 2点 ×2	
			(機能面) ・引き戸なので、スペースを有効に使うことができる ・軽くて動かしやすく、開け閉めによって光や風や明るさを調整することができる。 ・白い障子紙は光を反射するので、夜に閉めておけば照明効果を高めることができる。	など	
(3)	①	(理由) 外の空気が冷たいために、外と面している壁の近くの水蒸気が冷やされて水滴となったから。	※ 2点		
		(工夫) ・壁と布団との間にすき間を空ける。 ・布団の下にすのこを敷いて風通しをよくする。	※ 3点		
	②	洗面台の下の棚の隅にかびや結露が発生していたので、棚に入れる物の量を減らして、風通しをよくする。	※ 3点		

以下はあくまでも解答の一例です。

家庭 解答用紙	2枚中の2	受験 番号	氏 名	※	(3年)
---------	-------	----------	--------	---	------

※欄には記入しないこと

3	(1)	自分や家族、地域の人々の生活場면을振り返り、困っていること、あったらよいものなどを考える活動 など	※ 3点	※ 30点
	(2)	① (環境面) 捨てる衣服を減らすことができる。 など	※ 3点 ×2	
		(製作面) 布のはしの始末がしてあるので、製作しやすい。 など		
	(2)	② キルト芯をはさんでステッチをかけた布 表布と裏布の間に、綿などを入れて縫い合わせたもの など	※ 3点	
		(3)	① (生徒B) バッグの底の部分に「わ」を活用して丈夫に製作するため、「わ」に合わせて型紙を置く とよいこと。 など	※ 2点
	(3)	(生徒C) 布を無駄にしないように、片側に寄せて型紙を置く とよいこと。 など	※ 2点	
		② (名称) 裁ちばさみ	※ 2点	
	(3)	(使い方) 布を台の上に広げ、(手で布を押さえ、) <u>はさみの下側を台に付けて裁つ。</u>	※ 3点	
		③ ・糸巻き軸がボビンおさえ側にいていないか。(下糸を巻く状態になっていないか) ----- ・釜の中にはほこりや糸が詰まっていないか。 など	※ 2点 ×2	
	(4)	(I) 生活を豊かにする物の製作について振り返らせ、今後の生活に生かすことができるようにする。 など	※ 2点	
		(J) 製作したものを活用した結果を自己評価し、改善点や今後に生かすことを話し合う。 など	※ 3点	
	4	(1)	① ・役によって気持ちの違いがあったか。 ・他のグループのやりとりと比べて、気付いたことは何か。 ----- ・生活の中で生かすことのできる関わり方はないか。 など	※ 2点 ×2
② 協力することによって、家族関係をよりよくできること など			※ 3点	
(2)			① 阪神・淡路大震災をきっかけに法律(特定非営利活動促進法)が整備され、この法律に基づいて都道府 県もしくは政令指定都市の認証を受けて設立される市民の営利を目的としない組織 など	※ 4点
(2)		② ・2人1組で体験させる。 ・周囲につまづくような危険な物を置かない。 など	※ 3点	
		③ ・立ち上がりの介護体験 ・歩行などの介護体験 など	※ 3点	
(3)		「B衣食住の生活」や「C消費生活・環境」の内容と関連させる。 など	※ 3点	